

日刊 磐城時報

福島縣石城郡平町掛町十四番地 印刷所 印刷部 電話 四一四 印刷部 電話 四一四 印刷部 電話 四一四

五星霜の學業成り

學窓を築立つ健兒

優等生は八名

磐城中等學校第三十二回卒業式は七日午前十時舉行さるゝが、本年度卒業生百九十六名の氏名左の如く、優等生は

今宮正平(平町) 木村五郎(福井) 木田佐門(上遠野村) 下山田佐久彌(山田村) 鈴木新夫(平町) 長瀬直樹(平町) 松野久作(信夫) 吉田榮延(下小川村)

岸正利 木村晴雄 木村五郎 木内佐門 小林源一郎 熊谷勝正 小林忠司 小林一義 小湊善一 小泉公明 小磯利隆 小塚博一 小松周二 佐藤善四郎 佐藤一男 佐藤一郎 藤原正雄 佐藤唯雄 齋藤正武 齋藤文男 齋藤豊 齋藤西丸芳郎 里見政雄 笹川子之太郎 坂本富三雄 篠塚榮一 篠原欽司 志賀勝 志賀滿義 柴野春記 柴田連二 賀家又衛 鈴木新夫 鈴木重田景助 鈴木山田久彌 一夫 鈴木末二 鈴木繁雄 鈴木正一 鈴木正夫 鈴木伍郎 鈴木正一 鈴木敏之 須田正 須田吉一 菅原昌人 高橋金治 高橋新治郎 高岡大次郎 田久清 田中久安郎 丹野清 丹野千吉 瀧内集 瀧彌二 竹本慎一郎 竹本研一 谷口保 武田義雄 丹

平庶民金庫總代人改選で

野心家の飛躍始まる

相當競争が演ぜられん

▲卒業生氏名五十音順 (○印五ヶ年間精勤者) 阿部徳三郎 ○阿部忠義 阿部恒男 ○阿部省三 ○阿部秀良 有坂正道 青木武 青木金吾 ○朝妻仲治 ○粟川一美 會川伊佐雄 秋山常衛 阿久津經之 今宮正平 伊藤國之助 伊藤仁 飯島博義 石倉道朗 石井正則 魚住貞雄 江尻清 江尻隆平 大平正美 大平道美 大平正彦 ○大友春美 ○大友能一 ○大和田藤太郎 大竹清美 大和田八東 大内一郎 大島留春 猪狩敏行 ○叶田正良 恒原武三 ○片寄登喜雄 片寄正道 川瀬達雄 鴨秀明 金成増文 ○菅野正市 景山文藏

以前から組合員間を訪問し野望達成の運動を開始したと傳えられてゐるので相當猛烈な競争が演ぜられるものと察せられてゐる。

赤土内務部長 平町で歓迎會 赤土内務部長は五日午後後通し赤土内務部長は五日午後後通し赤土内務部長は五日午後後通し

桑園改良講習 小川村農會では三日午後一時から下小川常福寺で桑園改良講習會を開いた。

戦死した山崎伍長 飯野村で村葬 ハルピンの激戦で名譽の戦死を害取調中である。

大工の美譽 四倉町 仲町大工職坂本文治氏は四十二歳初老祝の費用を割き在郷軍人分會に五圓を寄附した。

小川校學藝會 小川村下小川分校では七日午前十時から學藝會を開く。

赤井嶽の山火事 石城郡赤井村大字赤井赤井嶽中腹から四日午後四時發火し不動瀧番小屋及び一町余の立毛を焼

身元不明の轍死体 双葉郡久之濱町字中濱地内鐵道線路に二十六七歳前後労働者風の男の轍死体があるを四日線路工夫が発見四倉署から神永部長出張視察したが、身元不明なので久濱町役場で假埋葬を行つた

四倉局一月成績 四倉郵便局に於ける二月中の取扱成績左の如し 貯金受入一千二百八十九圓三

原町演藝便り 第二師團が生んだ奉天城一番乗りで馳名を轟かした勇敢なる谷川軍曹の事實譚の映畫公開は五日、六日兩日原町旭座に於て催す筈

相馬支局通信 名譽の戦死者 相馬郡高平村出身壯内曹長は滿洲の野に名譽の戦死を遂げられたが、遺骨は来る八日午後一時三十九分原町驛着の筈にて十二日午前十時より同村小學校々庭に於て盛大に執行する事に決し夫々關係者へ通知した。

境界争ひ 平町では上水道擴張工事の一部財源として一昨年同町町元水道課敷地四千二百六坪の町有地を百澤某に呼當り五十圓合計二萬一千三百圓で賣却したが、百澤氏は境界の確立をはかるため三日平町役場委員並に隣地鐵道側の代表平保綿係員の立會を求めて境界の測定をなしたところ意外にも平町では鐵道側の敷地三十坪を百澤氏に賣却したことが判明したので鐵道側では異議を申込んだため町當局では直ちに詳細なる調査に取りかかつたが、しかし平町では古き土地帳と圖面とを照らし合せ念には念を入れて賣却したものであるから斷つて他人の土地は賣らぬと頭張つてゐるに對し、一方鐵道側では自分の方は正確な測量の結果によつて平町が間違つてゐることを指摘したのだからこの際斷じて一步も譲れぬと強硬に主張してゐるので今後双方の間には相當面倒な問題が起りさうである。

二月の出産 四倉町に於ける二月中の出産その他左の如し ▲死亡十二名 ▲出産二十六名 ▲婚姻九組

果して親子か? 公廷で顔の鑑定 私生兒認知の訴訟

石城郡上遠野村上遠野トモ(二裁判長係り原告代理門傳辯護士五)は同村自轉業渡邊哲三(四)被告代理増田、真木兩辯護士出を相手取つて私生兒認知の訴訟の上開廷、来る十八日公廷に瀧番小屋及び一町余の立毛を焼

石城郡湯本町長岡義雄經營の磐城炭礦が平町外二ヶ村の地下九十七萬坪の試掘を仙臺鐵山監督局に申請したのに對し平町では町會の決議を以て反對し鐵山監督局に對しは、反對の陳情をなしてゐるが、この程平町の反對運動も効を奏せずその筋から試掘を許可する旨の通知が磐城炭礦側にあつた。

磐城炭礦の試掘許可さる 磐城炭礦が平町外二ヶ村の地下九十七萬坪の試掘を仙臺鐵山監督局に申請したのに對し平町では町會の決議を以て反對し鐵山監督局に對しは、反對の陳情をなしてゐるが、この程平町の反對運動も効を奏せずその筋から試掘を許可する旨の通知が磐城炭礦側にあつた。

相馬支局通信 名譽の戦死者 相馬郡高平村出身壯内曹長は滿洲の野に名譽の戦死を遂げられたが、遺骨は来る八日午後一時三十九分原町驛着の筈にて十二日午前十時より同村小學校々庭に於て盛大に執行する事に決し夫々關係者へ通知した。

原町演藝便り 第二師團が生んだ奉天城一番乗りで馳名を轟かした勇敢なる谷川軍曹の事實譚の映畫公開は五日、六日兩日原町旭座に於て催す筈

相馬支局通信 名譽の戦死者 相馬郡高平村出身壯内曹長は滿洲の野に名譽の戦死を遂げられたが、遺骨は来る八日午後一時三十九分原町驛着の筈にて十二日午前十時より同村小學校々庭に於て盛大に執行する事に決し夫々關係者へ通知した。

境界争ひ 平町では上水道擴張工事の一部財源として一昨年同町町元水道課敷地四千二百六坪の町有地を百澤某に呼當り五十圓合計二萬一千三百圓で賣却したが、百澤氏は境界の確立をはかるため三日平町役場委員並に隣地鐵道側の代表平保綿係員の立會を求めて境界の測定をなしたところ意外にも平町では鐵道側の敷地三十坪を百澤氏に賣却したことが判明したので鐵道側では異議を申込んだため町當局では直ちに詳細なる調査に取りかかつたが、しかし平町では古き土地帳と圖面とを照らし合せ念には念を入れて賣却したものであるから斷つて他人の土地は賣らぬと頭張つてゐるに對し、一方鐵道側では自分の方は正確な測量の結果によつて平町が間違つてゐることを指摘したのだからこの際斷じて一步も譲れぬと強硬に主張してゐるので今後双方の間には相當面倒な問題が起りさうである。

二月の出産 四倉町に於ける二月中の出産その他左の如し ▲死亡十二名 ▲出産二十六名 ▲婚姻九組

果して親子か? 公廷で顔の鑑定 私生兒認知の訴訟

# かまぼこ

## 折詰仕出し

御惣菜用とつま揚、吉原揚

平町二丁目

藤市蒲鉾店

電話三〇五番

# 家助膜湯

定一週間分 價金貳圓

**主効** 各種膀胱炎の外腐敗性気管枝炎に著効あり、悪臭痰に悩む方先づ本劑一週間を試みられよ。

◎本劑は高貴和漢薬十數種の配合より成り強壯、下熱、鎮痛、利尿、防腐等の作用顯著にして且つ長期の連用他藥併用等に絶對副作用なく自宅治療劑として最適の良藥なり。

特約店 平町四丁目 小野藥店 電話一四四番

# 吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番

和洋銅鐵金物問屋

# 久 釜屋商店

諸橋久太郎 電話九九番

坊やおち



ドライは…(粉ミルク)

吾が育児界に誇り得る唯一の國産粉未牛乳で如何に眞夏と雖、長期の保存に堪へお湯さへ加へれば純良、濃厚な色、味香共に勝れし母乳と同じ榮養價の新鮮牛乳を得られます。

四季を通じて完全母乳代用品

# 森 ドライミルク

地方代理店 關

内 藥 局 電話四〇番

本年は

黒靴の…王座

明るい政治に…黒靴

戦勝の誇りは…大塚の靴

安い靴は…大塚へ

靴原引上げの爲め (今絶好の御買ひ時)

靴原料暴騰に次ぐ暴騰なれど先値在庫品豊富故に値上せず

大塚支店製靴部 平町町 電七七番

# 貸切御用命

ゼヒ 三井自動車部へ

電話六八五番

乗合は 好間・合戸・澤渡方面行

鼻の藥 チクノール 平五 山野邊藥局

<p><b>毒夜</b></p> <p>皮膚病 専門 院 醫 科 (七〇一話電)</p>	<p><b>腸胃</b></p> <p>腸胃病 専門 院 醫 科 (七〇一話電)</p>
--	--

迅速と廉價 印刷物は 加納活版所

# 産婆看護婦生徒募集

願書四月八日迄(可成至急) 修業年限(産婆看護婦を通じて一ケ年)

平町一丁目

石城産科婦人學校 電話三五七番

滋養、強壯劑として愈々好評

偉大なる藥酒「栗守酒」

栗守酒特約店 大平屋藥店 代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電話四六二)

# 生花教授

家元龍生派池坊 生花、盛花、投入、自然

營業では御座いませぬ趣味で御相手致し度うございます 平町仲町三

華道教授 天水庵 岡田華悦

# 生徒募集

時代に適した婦人の職業

卒業一ケ年 申込四月八日迄 入學無試験

平町南町

平産婆看護婦學校 校長 清野キヨ 電話三〇七番